教育職員免許状取得のために必要な科目

1 教科及び教科の指導法に関する科目

(1) 工業

(イ) 住環境デザイン学科

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数			左記科目に対する本大学での科目等				
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数	週時間数		履修年次
					前期	後期	
教科に関する専門的事項	工業の関係科目	1	住環境デザイン概論	②	2		1
			デザイン方法論	2		2	2
			福祉住環境学	2	2		2
			居住安全計画	2	2		2
			住環境工学 A	②		2	1
			住環境工学 B	2	2		2
			住環境設備	2		2	2
			環境設備計画 A	2	2		3
			環境設備計画 B	2		2	3
			住環境材料学	②		2	2
			構造力学 I	2	2		2
			構造力学 II	2		2	2
			建築一般構造学	②	2		1
			住宅生産学	②		2	3
			住生活学	②		2	1
			建築計画学	2		2	2
			近代デザイン史	2	2		2
			日本建築史	2		2	3
			西洋建築史	2		2	2
			インテリアデザイン論	2		2	2
			基礎設計演習	②		4	1
設計演習 I	②	4		2			
設計演習 II	②		4	2			
設計演習 III	3	6		3			
職業指導	1	職業指導	④	2	2	1~4	

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数			左記科目に対する本大学での科目等				
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数	週時間数		履修年次
					前期	後期	
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)		4	工業科教育法Ⅰ	②	2		3
			工業科教育法Ⅱ	②		2	3
合計		24		34以上			

注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、その他は選択科目とする。

- 2 工業の関係科目において、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に充当する。

(ロ) 建築学科

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数			左記科目に対する本大学での科目等				
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数	週時間数		履修年次
					前期	後期	
教科に関する専門的事項	工業の関係科目	1	建築計画基礎	②		2	1
			都市地域デザイン	②	2		3
			西洋建築史	②	2		2
			建築計画各論	②	2		2
			福祉すまい環境	②		2	2
			建築環境工学Ⅰ	②		2	1
			建築環境工学Ⅱ	②	2		2
			日本建築史	2	2		2
			近代建築史	2	2		3
			建築環境工学Ⅲ	2		2	2
			現代作品論	2		2	4
			構造力学Ⅰ	③		4	1
			構造力学Ⅱ	③	4		2
			建築材料	②	2		2
			鉄筋コンクリート構造	2		2	2
			鋼構造	②		2	2
			建築基礎演習A	②	4		1
			建築基礎演習B	②		4	1
			建築設計製図A	②	4		2
	建築設計製図B	②		4	2		
職業指導	1		職業指導	④	2	2	1~4
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	4		工業科教育法Ⅰ	②	2		3
			工業科教育法Ⅱ	②		2	3
合計		24		34以上			

注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、その他は選択科目とする。

2 工業の関係科目において、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に充当する。

(ハ) 機械工学科

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数			左記科目に対する本大学での科目等				
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数	週時間数		履修年次
					前期	後期	
教科に関する専門的事項	工業の関係科目	1	機械力学Ⅰ	2	2		2
			機械力学Ⅱ	2		2	2
			制御工学Ⅰ	2	2		3
			制御工学Ⅱ	2		2	3
			流体工学Ⅰ	2	2		2
			流体工学Ⅱ	2		2	2
			流体力学	2	2		3
			材料力学Ⅰ	2	2		2
			材料力学Ⅱ	2		2	2
			熱力学Ⅰ	2	2		2
			熱力学Ⅱ	2		2	2
			機械製作法	2		2	1
			生産加工学	2	2		3
			生産工学	2	2		3
			機械材料学Ⅰ	2	2		1
			機械材料学Ⅱ	2		2	1
			ロボット工学	2		2	3
			基礎機械工作実習	②		4	1
			応用機械工作実習	2	4		2
			機械工学実験	2	4		3
	機械製図Ⅰ	②		4	1		
機械製図Ⅱ	2	4		2			
基礎機械設計	2		4	2			
応用機械設計	2	4		3			
職業指導	1		職業指導	④	2	2	1～4
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)		4	工業科教育法Ⅰ	②	2		3
			工業科教育法Ⅱ	②		2	3
合計		24		34以上			

注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、その他は選択科目とする。

2 工業の関係科目において、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に充当する。

(二) 電気電子工学科

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数			左記科目に対する本大学での科目等				
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数	週時間数		履修年次
					前期	後期	
教科に関する専門的事項	工業の関係科目	1	電磁気学Ⅰ	②		2	1
			電磁気学Ⅱ	2	2		2
			電磁界理論	2		2	2
			電気回路Ⅰ	②	2		1
			電気回路Ⅱ	2		2	1
			電子回路基礎	2		2	2
			電気電子計測	2	2		3
			電気エネルギー工学	2		2	2
			電力伝送	2		2	3
			電力工学	2	2		3
			電気機器Ⅰ	2	2		2
			電気機器Ⅱ	2		2	2
			電気設備工学	2	2		3
			電子材料	2		2	1
			電子デバイス工学	2	2		3
			制御システム	2		2	3
			電子回路	2	2		3
			論理回路基礎	2	2		2
			論理回路	2		2	2
			IoT プロセッシング	2		2	3
			情報理論	2		2	3
			通信システム	2	2		3
			通信工学Ⅰ	2	2		2
			通信工学Ⅱ	2		2	2
			通信ネットワーク	2	2		3
			光エレクトロニクス	2	2		3
IoT デバイス	2	2		3			

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数			左記科目に対する本大学での科目等				
科目	各科目に含めること が必要な事項	最低修得 単位数	授業科目	単位数	週時間数		履修 年次
					前期	後期	
教科に関する 専門的 事項	工業の関係科目	1	電気情報基礎実験	②		4	1
			電気系実験Ⅰ	②	4		2
			情報系実験Ⅰ	2	4		2
			電気情報創成演習	②		4	2
			電気系実験Ⅱ	3	6		3
			情報系実験Ⅱ	3	6		3
	職業指導	1	職業指導	④	2	2	1～4
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)		4	工業科教育法Ⅰ	②	2		3
			工業科教育法Ⅱ	②		2	3
合計		24		34以上			

注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、その他は選択科目とする。

- 2 工業の関係科目において、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に充当する。

(ホ) 都市環境工学科

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数			左記科目に対する本大学での科目等				
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数	週時間数		履修年次
					前期	後期	
教科に関する専門的事項	工業の関係科目	1	構造力学基礎・演習	③		4	1
			構造力学Ⅰ	2	2		2
			構造力学Ⅱ	2		2	2
			地盤力学Ⅰ・演習	③	4		2
			地盤力学Ⅱ	2		2	2
			建設構造材料学	2		2	2
			水理学Ⅰ・演習	③		4	2
			水理学Ⅱ	2	2		3
			環境衛生工学Ⅰ	2		2	2
			環境衛生工学Ⅱ	2	2		3
			計画システム	2	2		3
			都市計画学	2		2	3
			環境地盤工学	2	2		3
			鋼構造学	2	2		3
			コンクリート構造学	2	2		3
			建設施工学	2		2	3
			交通・道路工学	2		2	3
			流域・沿岸域工学	2	2		3
			防災・耐震工学	2		2	3
			技術者倫理	2		2	3
			測量学実習Ⅰ	①		3	1
測量学実習Ⅱ	①	3		2			
構造力学Ⅰ演習	1	2		2			
コンクリート構造学演習	1	2		3			
計画システム演習	1	2		3			
職業指導	1	職業指導	④	2	2	1～4	
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	4	工業科教育法Ⅰ	②	2		3	
		工業科教育法Ⅱ	②		2	3	
合計	24		34以上				

注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、その他は選択科目とする。

- 2 工業の関係科目において、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に充当する。

(2) 数学

(イ) 住環境デザイン学科

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数				左記科目に対する本大学での科目等					
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数		授業科目	単位数		週時間数		履修年次
		中学	高校		中学	高校	前期	後期	
教科に関する専門的事項	代数学	1	1	線形代数Ⅰ	②		2		1
				線形代数Ⅱ	2			2	1
				代数学	2	2			2
	幾何学	1	1	幾何学Ⅰ	②		2		2
				幾何学Ⅱ	2			2	2
				図学	2			2	1
				図形科学	2			2	1
	解析学	1	1	基礎数学演習	2		4		1
				微積分Ⅰ	④		4		1
				微積分Ⅱ	4			4	1
				工業数学Ⅰ	2	2			2
				工業数学Ⅱ	2			2	2
				解析学	2			2	2
	確率論、統計学	1	1	統計学	②			2	2
	コンピュータ	1	1	情報リテラシーⅠ	①		(2)	(2)	1
				統計情報処理	①			2	1
				空間表現演習 A	2	4			2
				空間表現演習 B	2			4	2
	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	8	4	数学科教育法Ⅰ	②	②		2	2
数学科教育法Ⅱ				②	②	2		3	
数学科教育法Ⅲ				②	2	2		3	
数学科教育法Ⅳ				②	2		2	3	
合計	28	24		30以上	34以上				

注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、その他は選択科目とする。

2 週時間数を()で囲んだ授業科目は、前期または後期のいずれかで開講する。

3 教科及び教科の指導法に関する科目において、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に充当する。

(ロ) 建築学科

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数				左記科目に対する本大学での科目等					
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数		授業科目	単位数		週時間数		履修年次
		中学	高校		中学	高校	前期	後期	
教科に関する専門的事項	代数学	1	1	線形代数Ⅰ	②		2		1
				線形代数Ⅱ	2			2	1
				代数学	2	2		2	
	幾何学	1	1	幾何学Ⅰ	②		2		2
				幾何学Ⅱ	2			2	2
				図学	2			2	1
	解析学	1	1	基礎数学演習	2		4		1
				微積分Ⅰ	④		4		1
				微積分Ⅱ	4			4	1
				工業数学Ⅰ	2	2		2	
				工業数学Ⅱ	2			2	2
	解析学	2			2	2			
	確率論、統計学	1	1	統計学	②			2	2
	コンピュータ	1	1	情報リテラシーⅠ	①		(2)	(2)	1
				情報メディアデザイン	②			2	1
				建築情報処理基礎	2	2		2	
				建築情報処理応用	2			2	2
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	8	4	数学科教育法Ⅰ	②	②		2	2	
			数学科教育法Ⅱ	②	②	2		3	
			数学科教育法Ⅲ	②	2	2		3	
			数学科教育法Ⅳ	②	2		2	3	
合計	28	24		30以上	34以上				

注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、その他は選択科目とする。

2 週時間数を()で囲んだ授業科目は、前期または後期のいずれかで開講する。

3 教科及び教科の指導法に関する科目において、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に充当する。

(ハ) 機械工学科

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数				左記科目に対する本大学での科目等					
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数		授業科目	単位数		週時間数		履修年次
		中学	高校		中学	高校	前期	後期	
教科に関する専門的事項	代数学	1	1	線形代数Ⅰ	②		2		1
				線形代数Ⅱ	2			2	1
				代数学	2	2			2
	幾何学	1	1	幾何学Ⅰ	②		2		2
				幾何学Ⅱ	2			2	2
				図学	2			2	1
	解析学	1	1	基礎数学演習	2		4		1
				微積分Ⅰ	④		4		1
				微積分Ⅱ	4			4	1
				工業数学Ⅰ	2	2			2
				工業数学Ⅱ	2			2	2
				解析学	2			2	2
				応用数学Ⅰ	2	2			3
	応用数学Ⅱ	2			2	3			
	確率論、統計学	1	1	統計学	②			2	2
	コンピュータ	1	1	情報リテラシーⅠ	①		(2)	(2)	1
				統計情報処理	①			2	1
				プログラミングベーシック	1	2			2
				プログラミングアドバンス	1			2	2
				デジタルエンジニアリング	2			2	3
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	8	4	数学科教育法Ⅰ	②	②		2	2	
			数学科教育法Ⅱ	②	②	2		3	
			数学科教育法Ⅲ	②	2	2		3	
			数学科教育法Ⅳ	②	2		2	3	
合計	28	24		30以上	34以上				

注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、その他は選択科目とする。

2 週時間数を()で囲んだ授業科目は、前期または後期のいずれかで開講する。

3 教科及び教科の指導法に関する科目において、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に充当する。

(二) 電気電子工学科

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数				左記科目に対する本大学での科目等					
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数		授業科目	単位数		週時間数		履修年次
		中学	高校		中学	高校	前期	後期	
教科に関する専門的事項	代数学	1	1	線形代数Ⅰ	②		2		1
				線形代数Ⅱ	2			2	1
				代数学	2	2			2
	幾何学	1	1	幾何学Ⅰ	②		2		2
				幾何学Ⅱ	2			2	2
				図学	2			2	1
	解析学	1	1	基礎数学演習	2		4		1
				微積分Ⅰ	④		4		1
				微積分Ⅱ	4			4	1
				解析学	2			2	2
				電気数学Ⅰ	2			2	1
				電気数学Ⅱ	2	2			2
	確率論、統計学	1	1	統計学	②			2	2
				確率統計	②			2	2
	コンピュータ	1	1	情報リテラシーⅠ	①		(2)	(2)	1
				統計情報処理	1			2	1
				Cプログラミング	①		2		1
				コンピュータシステムⅠ	2			2	1
				コンピュータ解析	2	2			2
	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	8	4	数学科教育法Ⅰ	②	②		2	2
数学科教育法Ⅱ				②	②	2		3	
数学科教育法Ⅲ				②	2	2		3	
数学科教育法Ⅳ				②	2		2	3	
合計	28	24		30以上	34以上				

注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目、その他は選択科目とする。

2 週時間数を()で囲んだ授業科目は、前期または後期のいずれかで開講する。

3 「統計学」、「確率統計」のうちいずれか1科目を修得すること。

4 教科及び教科の指導法に関する科目において、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に充当する。

(ホ) 都市環境工学科

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数				左記科目に対する本大学での科目等					
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数		授業科目	単位数		週時間数		履修年次
		中学	高校		中学	高校	前期	後期	
教科に関する専門的事項	代数学	1	1	線形代数Ⅰ	②		2		1
				線形代数Ⅱ	2			2	1
				代数学	2	2			2
	幾何学	1	1	幾何学Ⅰ	②		2		2
				幾何学Ⅱ	2			2	2
				測量学Ⅰ	2			2	1
				測量学Ⅱ	2	2			2
				図学	2			2	1
				図形科学	2			2	1
	解析学	1	1	基礎数学演習	2		4		1
				微積分Ⅰ	④		4		1
				微積分Ⅱ	4			4	1
				工業数学Ⅰ	2	2			2
				工業数学Ⅱ	2			2	2
				解析学	2			2	2
	確率論・統計学	1	1	統計学	②			2	2
	コンピュータ	1	1	情報リテラシーⅠ	①		(2)	(2)	1
				統計情報処理	①			2	1
				CAD 実習	1			2	2
	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	8	4	数学科教育法Ⅰ	②	②		2	2
数学科教育法Ⅱ				②	②	2		3	
数学科教育法Ⅲ				②	2	2		3	
数学科教育法Ⅳ				②	2		2	3	
合計	28	24		30 以上	34 以上				

注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、その他は選択科目とする。

2 週時間数を()で囲んだ授業科目は、前期または後期のいずれかで開講する。

3 教科及び教科の指導法に関する科目において、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に充当する。

(3) 理科

(イ) 生命科学科

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数				左記科目に対する本大学での科目等					
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数		授業科目	単位数		週時間数		履修年次
		中学	高校		中学	高校	前期	後期	
物理学		1	1	物理科学	②		2		1
化学		1	1	生物有機化学	②			2	1
				生物無機化学	②		2		1
				食品分析学	2		2		2
				環境分析化学	2		2		3
生物学		1	1	生物学概論	②		2		1
				実験動物学	2			2	3
				動物生理学	②		2		2
				人体と病態	2		2		2
				生化学Ⅲ	②			2	2
				発生生物学	2			2	2
				食品生化学	2		2		2
				微生物学	②		2		2
				免疫学	②			2	2
				遺伝子工学	②		2		3
				薬理学	②		2		3
細胞機能学	2			2	3				
地学		1	1	地学	②		2		2~4
物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)	1	1	物理学実験	①		4		1	
			生体物質機能解析実習	①		2		3	
化学実験 (コンピュータ活用を含む。)	1	1	分析化学実習	①		2		2	
生物学実験 (コンピュータ活用を含む。)	1	1	生物学基礎実習	①			2	1	
			分子生物学実習	①			2	2	
			薬理学実習	1			2	3	
地学実験 (コンピュータ活用を含む。)	1	1	地学実験	②			2	2~4	
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	8	4	理科教育法Ⅰ	②	②		2	2	
			理科教育法Ⅱ	②	②	2		3	
			理科教育法Ⅲ	②	2		2	3	
			理科教育法Ⅳ	②	2		2	3	
合計		28	24		30以上	34以上			

注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、その他は選択科目とする。

2 教科及び教科の指導法に関する科目において、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に充当する。

2 教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目および教育実践に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数		左記科目に対する本大学での科目等									
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数		授業科目	単位数		週時間数		履修年次		
		中学	高校		中学	高校	前期	後期			
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	10	教育原理	②	②	(2)	(2)	2		
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）			教師論	②	②	2		1		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）			教育経営論	②	②	(2)	(2)	3		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			教育社会学	②	②	(2)	(2)	3		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			教育心理学	②	②	(2)	(2)	1		
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）			特別支援教育論	②	②	(2)	(2)	3		
				教育課程論	②	②	(2)	(2)	2		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	8	道徳教育論	②		(2)	(2)	3		
	総合的な学習の時間の指導法			特別活動・総合的な学習の時間の理論と指導法	②	②	(2)	(2)	1		
	特別活動の指導法			教育方法論	②	②	(2)	(2)	2		
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）			生徒指導論(進路指導を含む)	②	②	(2)	(2)	2		
	生徒指導の理論及び方法			教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	②	②	(2)	(2)	3		
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法			生徒指導論(進路指導を含む)【再掲】							
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法										
教育実践に関する科目	教育実習	5	3	教育実習Ⅰ	①	①	(2)	(2)	3		
				教育実習Ⅱ	2	②	—	—	4		
				教育実習Ⅲ	④	④	—	—	4		
	学校体験活動	該当科目なし									
教職実践演習	2	2	教職実践演習(中・高)	②	②		2	4			
合計	27	23		29以上	25以上						

注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目、その他は選択科目とする。

2 週時間数を()で囲んだ授業科目は、前期または後期のいずれかで開講する。

- 3 「教育社会学」、「教育経営論」のうちいずれか1科目を修得すること。
- 4 「教育実習Ⅰ」は、学内における指導とする。
- 5 「教育実習Ⅱ」は、2週間以上の学外実習および学内における事前事後指導含む。
- 6 「教育実習Ⅲ」は、3週間以上の学外実習および学内における事前事後指導含む。
- 7 中学校教諭一種免許状取得には「教育実習Ⅱ」、「教育実習Ⅲ」から4単位以上、高等学校教諭一種免許状取得には2単位以上修得すること。
- 8 教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目および教育実践に関する科目において、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に充当する。

3 大学が独自に設定する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数			左記科目に対する本大学での科目等					
科目区分	最低修得単位数		授業科目	単位数		週時間数		履修年次
	中学	高校		中学	高校	前期	後期	
大学が独自に設定する科目	4	12	地域連携教育活動Ⅰ	2	2	(2)	(2)	2
			地域連携教育活動Ⅱ	2	2	(2)	(2)	2
			道徳教育論		2	(2)	(2)	3
			「教科及び教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」および「教育実践に関する科目」において、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した単位数を充当する。					
合計	4	12		4以上	12以上			

注1 「道徳教育論」は、高等学校教諭一種免許状取得にあたっては、大学が独自に設定する科目の修得単位数に充当することができるが、中学校教諭一種免許状取得にあたっては、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目の修得単位数とするため、大学が独自に設定する科目の修得単位数に充当することはできない。

- 2 「地域連携教育活動Ⅰ」および「地域連携教育活動Ⅱ」は選択科目とする。
- 3 「道徳教育論」は、高等学校教諭一種免許状取得にあたっては選択科目とする。

4 その他教育職員免許法施行規則で定める科目

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数			左記科目に対する本大学での科目等						
科 目	単 位 数		学 科	授業科目	単位数		週 時 間 数		履 修 年 次
	中 学	高 校			中 学	高 校	前 期	後 期	
日本国憲法	2	2	全学科共通	日本国憲法	②		2	1~3	
体 育	2	2		スポーツ科学実習Ⅰ	①	2		1	
				スポーツ科学実習Ⅱ	①		2	1	
外国語コミュニケーション	2	2		基礎英語Ⅰa	1	2		1	
				基礎英語Ⅰb	1	2		1	
				基礎英語Ⅱa	1		2	1	
				基礎英語Ⅱb	1		2	1	
				実践英語Ⅰa	1	2		2	
				実践英語Ⅰb	1	2		2	
				実践英語Ⅱa	1		2	2	
				実践英語Ⅱb	1	2		3	
				英語基礎会話Ⅰ	1	2		3	
				英語基礎会話Ⅱ	1		2	3	
情報機器の操作	2	2	生命科学科	情報リテラシーⅠ	①	(2)	(2)	1	
				生命科学・統計情報処理	②		2	1	
			住環境デザイン学科	情報リテラシーⅠ	①	(2)	(2)	1	
				統計情報処理	①		2	1	
			建築学科	情報リテラシーⅠ	①	(2)	(2)	1	
				情報メディアデザイン	②		2	1	
			機械工学科	情報リテラシーⅠ	①	(2)	(2)	1	
				統計情報処理	①		2	1	
			電気電子工学科	情報リテラシーⅠ	①	(2)	(2)	1	
				統計情報処理	①		2	1	
			都市環境工学科	情報リテラシーⅠ	①	(2)	(2)	1	
				統計情報処理	①		2	1	

注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、その他は選択科目とする。

2 週時間数を()で囲んだ授業科目は、前期または後期のいずれかで開講する。

3 外国語コミュニケーション科目については、当該区分の科目の中から2単位を修得すること。

教育職員免許状取得のために必要な科目

1 教科及び教科の指導法に関する科目

英 語

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数				左記科目に対する本大学での科目等					
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数		授業科目	単位数		週時間数		履修年次
		中学	高校		中学	高校	前期	後期	
教科に関する専門的事項	英語学	1	1	英語学概論	②		2		1
				音声学	②		2		1
				英語意味論・語用論	②		2		2
				英語構造論	②			2	2
	英語文学	1	1	英米文学	②			2	3
				リーディングⅡa	①		2		2
				Academic Reading	①		2		2
				Advanced English a	2		2		4
				Advanced English b	2			2	4
	英語コミュニケーション	1	1	リーディングⅡb	①			2	2
				Global Issues	①		2		2
				スピーキング&ライティングⅠa	1		2		1
				スピーキング&ライティングⅠb	1			2	1
				スピーキング&ライティングⅡa	①		2		2
				スピーキング&ライティングⅡb	①			2	2
				スピーキング&ライティングⅢa	①		2		3
				スピーキング&ライティングⅢb	①			2	3
				メディアイングリッシュ a	1		2		2
				メディアイングリッシュ b	1			2	2
				カレントイングリッシュ a	1		2		3
カレントイングリッシュ b				1			2	3	
ビジネスイングリッシュ a				1		2		4	
ビジネスイングリッシュ b				1			2	4	
スキルズトレーニング a				①		2		1	
スキルズトレーニング b	①			2	1				
リーディングⅢa	①		2		3				
リーディングⅢb	①			2	3				

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数				左記科目に対する本大学での科目等					
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数		授業科目	単位数		週時間数		履修年次
		中学	高校		中学	高校	前期	後期	
教科に関する専門的事項	英語コミュニケーション	1	1	ボキャブラリー&文法-a	①		2		1
				ボキャブラリー&文法-b	①			2	1
				ドラマ	1		2		1
				プレゼンテーション	1			2	1
				Practical English Conversation	①		2		2
				Academic Writing	①		2		2
				Comprehensive English a	1		2		3
				Comprehensive English b	1			2	3
				English for Global Communication a	1		2		3
				English for Global Communication b	1			2	3
				English Writing Workshop a	1		2		3
				English Writing Workshop b	1			2	3
				Debate & Presentation a	1		2		3
				Debate & Presentation b	1			2	3
	English Lecture I a	②		2		3			
	English Lecture I b	②			2	3			
	異文化理解	1	1	日米比較文化	②		2		2
				日米文化交流史	②		2		3
				エリアスタディーズ(北アメリカ)	2			2	1
	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	8	4	英語科教育法Ⅰ	②	②	2		3
英語科教育法Ⅱ				②	②		2	3	
英語科教育法Ⅲ				②	②	2		3	
英語科教育法Ⅳ				②	②		2	3	
合計	28	24		32以上	34以上				

注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目

2 単位数を□で囲んだ授業科目は選択必修科目

3 教科に関する専門的事項の選択必修科目は次のとおり修得すること。

英語学：「音声学」「英語意味論・語用論」「英語構造論」のうちいずれか2科目4単位

英語文学：「リーディングⅡa」または「Academic Reading」のいずれか1科目

英語コミュニケーション：「スピーキング&ライティングⅡa」「スピーキング&ライティングⅡb」「スピーキング&ライティングⅢa」「スピーキング&ライティングⅢb」「リーディングⅢa」「リーディングⅢb」の6科目6単位、または「Practical English Conversation」「Academic Writing」「English Lecture I a」「English Lecture I b」の4科目6単位、「ボキャブラリー&文法-a」または「ボキャブラリー&文法-b」のいずれか1科目

4 教科及び教科の指導法に関する科目において、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に充当する。

2 教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目および教育実践に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数		左記科目に対する本大学での科目等								
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数		授業科目	単位数		週時間数		履修年次	
		中学	高校		中学	高校	前期	後期		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	10	教育原理	②	②	(2)	(2)	2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）			教師論	②	②	2		1	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）			教育経営論	②	②	(2)	(2)	3	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			教育社会学	②	②	(2)	(2)	3	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			教育心理学	②	②	(2)	(2)	1	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）			特別支援教育論	②	②	(2)	(2)	3	
				教育課程論	②	②	(2)	(2)	2	
道徳、生徒指導、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	8	道徳教育論	②		(2)	(2)	3	
	総合的な学習の時間の指導法			特別活動・総合的な学習の時間の理論と指導法	②	②	(2)	(2)	1	
	特別活動の指導法			教育方法論	②	②	(2)	(2)	2	
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）			生徒指導論(進路指導を含む)	②	②	(2)	(2)	2	
	生徒指導の理論及び方法			教育相談(カウンセリングの基礎を含む)	②	②	(2)	(2)	3	
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法			生徒指導論(進路指導を含む)【再掲】						
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法									
教育実践に関する科目	教育実習	5	3	教育実習Ⅰ	①	①	(2)	(2)	3	
				教育実習Ⅱ	2	②	—	—	4	
				教育実習Ⅲ	④	④	—	—	4	
	学校体験活動	該当科目なし								
教職実践演習	2	2	教職実践演習(中・高)	②	②		2	4		
合計		27	23		29以上	25以上				

注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、単位数を□で囲んだ授業科目は選択必修科目、その他は選択科目。

2 週時間数を()で囲んだ授業科目は、前期または後期のいずれかで開講する。

3 「教育社会学」、「教育経営論」のうちいずれか1科目を修得すること。

4 「教育実習Ⅰ」は、学内における指導とする。

- 5 「教育実習Ⅱ」は、2週間以上の学外実習および学内における事前事後指導を含む。
- 6 「教育実習Ⅲ」は、3週間以上の学外実習および学内における事前事後指導を含む。
- 7 中学校教諭一種免許状取得には「教育実習Ⅱ」、「教育実習Ⅲ」から4単位以上、高等学校教諭一種免許状取得には2単位以上修得すること。
- 8 教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目および教育実践に関する科目において、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に充当する。

3 大学が独自に設定する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数			左記科目に対する本大学での科目等					
科目区分	最低修得単位数		授業科目	単位数		週時間数		履修年次
	中学	高校		中学	高校	前期	後期	
大学が独自に設定する科目	4	12	地域連携教育活動Ⅰ	2	2	(2)	(2)	2
			地域連携教育活動Ⅱ	2	2	(2)	(2)	2
			道徳教育論		2	(2)	(2)	3
			「教科及び教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」および「教育実践に関する科目」において、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した単位数を充当する。					
合計	4	12		4以上	12以上			

- 注1 「道徳教育論」は、高等学校教諭一種免許状取得にあたっては、大学が独自に設定する科目の修得単位数に充当することができるが、中学校教諭一種免許状取得にあたっては、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目の修得単位数とするため、大学が独自に設定する科目の修得単位数に充当することはできない。
- 2 「地域連携教育活動Ⅰ」および「地域連携教育活動Ⅱ」は選択科目とする。
 - 3 「道徳教育論」は、高等学校教諭一種免許状取得にあたっては選択科目とする。

4 その他教育職員免許法施行規則で定める科目

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数			左記科目に対する本大学での科目等					
科目	最低修得単位数		授業科目	単位数		週時間数		履修年次
	中学	高校		中学	高校	前期	後期	
日本国憲法	2	2	日本国憲法	②			2	1～3
体育	2	2	スポーツ科学実習Ⅰ	①		2		1
			スポーツ科学実習Ⅱ	①			2	
外国語コミュニケーション	2	2	スピーキング&ライティングⅡa	1		2		2
			スピーキング&ライティングⅡb	1			2	
			Practical English Conversation	1		2		
			Academic Writing	1		2		
情報機器の操作	2	2	情報リテラシーⅠ	①		(2)	(2)	1
			情報リテラシーⅡ	①			2	

- 注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目
- 2 週時間数を()で囲んだ授業科目は、前期または後期のいずれかで開講する。
 - 3 外国語コミュニケーションについては、4科目の中から2単位修得すること

教育職員免許状取得のために必要な科目

1 教科及び教科の指導法に関する科目

(1) 経営学科
商業

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数		左記科目に対する本大学での科目等					
科目	各科目に含めること が必要な事項	最低修 得単 位数	授業科目	単位数	週時間数		履修 年次
					前期	後期	
教科に関する専門的 事項	商業の関係科目	1	経営学Ⅰ	②	2		1
			経営学Ⅱ	②		2	1
			簿記入門	④	4		1
			財務諸表論入門	2		2	1
			経営統計学	2		2	1
			商業簿記	2	2		2
			ベンチャービジネス論	2	2		2
			ビジネスプランニング	2		2	3
			ビジネスイングリッシュⅠ	1	2		3
			ビジネスイングリッシュⅡ	1		2	3
			経営組織論	2	2		2
			経営史	2		2	2
			現代日本経営史	2	2		3
			経営管理論	2	2		2
			人的資源管理論Ⅰ	2		2	2
			人的資源管理論Ⅱ	2	2		3
			マーケティング概論	2		2	1
			生産管理論	2	2		3
			企業論	2		2	2
			経営戦略論	2	2		3
			ファイナンスⅠ	2	2		2
			ファイナンスⅡ	2		2	2
			管理会計論Ⅰ	2	2		3
			管理会計論Ⅱ	2		2	3
財務会計論Ⅰ	2	2		2			
財務会計論Ⅱ	2		2	2			
工業簿記	2	2		2			
会計情報分析論	2	2		3			

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数			左記科目に対する本大学での科目等				
科目	各科目に含めること が必要な事項	最低修得 単位数	授業科目	単位数	週時間数		履修 年次
					前期	後期	
教科に 関する 専門的 事項	商業の関係科目	1	企業分析(財務戦略ケース分析)	2		2	3
			中小企業会計論	2		2	3
			企業分析(経営戦略ケース分析)	2		2	3
			企業分析(経営組織ケース分析)	2	2		3
			職業能力開発	2		2	2
	職業指導	1	職業指導Ⅰ	②	2		1～4
			職業指導Ⅱ	②		2	1～4
各教科の指導法(情報機器 及び教材の活用を含む。)		4	商業科教育法	④	2	2	3
合計		24		34以上			

注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目

- 2 商業の関係科目において、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に充当する。

(2) 経営情報学科
イ 商業

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数			左記科目に対する本大学での科目等				
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数	週時間数		履修年次
					前期	後期	
教科に関する専門的事項	商業の関係科目	1	ビジネスイングリッシュⅠ	1	2		3
			ビジネスイングリッシュⅡ	1		2	3
			経営学Ⅰ	②	2		1
			経営学Ⅱ	②		2	1
			簿記入門	④	4		1
			マーケティング概論	②		2	1
			市場調査入門	2		2	1
			経営統計学	2		2	1
			ビジネスデータ分析	2	2		2
			マネジメントサイエンス	2		2	2
			ベンチャービジネス論	2	2		2
			ビジネスプランニング	2	2		3
			マーケティングサイエンス	2		2	3
			メディア戦略論	2		2	3
			コンテンツビジネス	2	2		3
			経営史	2		2	2
			市場調査法	2		2	2
			リテールマーケティング	2		2	2
			マーケティング戦略論	2		2	2
			マーケティング演習	2		2	3
			会社法	2	2		3
民法	2	2		2			
労働法	2	2		3			
職業指導	職業指導	1	職業指導Ⅰ	②	2		1～4
			職業指導Ⅱ	②		2	1～4
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)		4	商業科教育法	④	2	2	3
合計		24		34以上			

注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目

2 商業の関係科目において、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に充当する。

ロ 情報

教育職員免許法施行規則に定める科目 および単位数			左記科目に対する本大学での科目等				
科目	各科目に含めることが 必要な事項	最低修 得単 位数	授業科目	単位数	週時間数		履修 年次
					前期	後期	
教科に関する専門的 事項	情報社会及び情報倫理	1	情報倫理	②	2		2
			メディアと社会	②	2		3
			知的財産管理論	2		2	3
	コンピュータ及び情報 処理(実習を含む。)	1	プログラミングⅠ	②	2		2
			プログラミングⅡ	②		2	2
			ビジネス情報処理Ⅰ	②	2		1
			ビジネス情報処理Ⅱ	②		2	1
			ネットワーク運用管理	2	2		3
			ビジネスシミュレーション	2	2		3
			コンピュータサイエンス	2	2		3
	情報システム(実習を 含む。)	1	ICT 概論	②	2		1
			経営情報システムⅠ	②	2		2
			経営情報システムⅡ	②		2	2
	情報通信ネットワーク (実習を含む。)	1	流通情報システム論	2		2	3
			情報ネットワーク	②		2	2
	マルチメディア表現及 び技術(実習を含む。)	1	ビジネス IT 演習	2		2	3
			マルチメディア処理Ⅰ	②	2		3
	マルチメディア処理Ⅱ	1	マルチメディア処理Ⅱ	②		2	3
			情報と職業	1		2	3
	各教科の指導法(情報機器及 び教材の活用を含む。)	4	情報科教育法	④	2	2	3
	合計	24		34 以上			

注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目

2 教科及び教科の指導法に関する科目において、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に充当する。

2 教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目および教育実践に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数		左記科目に対する本大学での科目等					
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低単位数	授業科目	単位数	週時間数		履修年次
					前期	後期	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	②	(2)	(2)	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教師論	②	2		1
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育経営論	②	(2)	(2)	3
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育社会学	②	(2)	(2)	3
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		教育心理学	②	(2)	(2)	1
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	②	(2)	(2)	3
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	②	(2)	(2)	2
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な学習の時間の指導法	8	特別活動・総合的な学習の時間の理論と指導法	②	(2)	(2)	1
	特別活動の指導法		教育方法論	②	(2)	(2)	2
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		生徒指導論(進路指導を含む)	②	(2)	(2)	2
	生徒指導の理論及び方法		教育相談(カウンセリングの基礎を含む)	②	(2)	(2)	3
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		生徒指導論(進路指導を含む)【再掲】				
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法						
教育実践に関する科目	教育実習	3	教育実習Ⅰ	①	(2)	(2)	3
			教育実習Ⅱ	②	—	—	4
			教育実習Ⅲ	④	—	—	4
	学校体験活動	該当科目なし					
	教職実践演習	2	教職実践演習(中・高)	②		2	4
合計		23		25以上			

注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目、その他は選択科目。

2 週時間数を()で囲んだ授業科目は、前期または後期のいずれかで開講する。

3 「教育社会学」、「教育経営論」のうちいずれか1科目を修得すること。

4 「教育実習Ⅰ」は、学内における指導とする。

- 5 「教育実習Ⅱ」は、2週間以上の学外実習および学内における事前事後指導含む。
- 6 「教育実習Ⅲ」は、3週間以上の学外実習および学内における事前事後指導含む。
- 7 「教育実習Ⅱ」、「教育実習Ⅲ」から2単位以上修得すること。
- 8 教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目および教育実践に関する科目において、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に充当する。

3 大学が独自に設定する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数		左記科目に対する本大学での科目等				
科目区分	最低修得単位数	授業科目	単位数	週時間数		履修年次
				前期	後期	
大学が独自に設定する科目	12	地域連携教育活動Ⅰ	2	(2)	(2)	2
		地域連携教育活動Ⅱ	2	(2)	(2)	2
		道徳教育論	2	(2)	(2)	3
		「教科及び教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」および「教育実践に関する科目」において、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した単位数を充当する。				
合計	12		12以上			

注 「地域連携教育活動Ⅰ」「地域連携教育活動Ⅱ」「道徳教育論」は選択科目とする。

4 その他教育職員免許法施行規則で定める科目

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数			左記科目に対する本大学での科目等					
科目	単位数		授業科目	単位数		週時間数		履修年次
	中学	高校		中学	高校	前期	後期	
日本国憲法	2	2	日本国憲法	②			2	1~3
体育	2	2	スポーツ科学実習Ⅰ	①		2		1
			スポーツ科学実習Ⅱ	①			2	1
外国語コミュニケーション	2	2	英語コミュニケーションⅠ	①		2		3
			英語コミュニケーションⅡ	①			2	3
情報機器の操作	2	2	ビジネス情報処理Ⅰ	□		2		1
			ビジネス情報処理Ⅱ	□			2	1

注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目

2 選択必修科目は、該当科目の中から2単位を修得すること。

教育職員免許状取得のために必要な科目

1 教科及び教科の指導法に関する科目

イ 社会

教育職員免許法施行規則に定める科目 および単位数			左記科目に対する本大学での科目等				
科目	各科目に含めることが 必要な事項	最低修得 単位数	授業科目	単位数	週時間数		履修 年次
					前期	後期	
教科に関する専門的 事項	日本史・外国史	1	日本史学	②	2		2
			ヨーロッパ史学	②	2		3
			東南アジア史学	②		2	3
			グローバル社会と日本	2	2		3
			中国史学	2		2	2
			近世日本の法文化	2	2		1
			日本の人権の歴史	2		2	1
			日本女性史	2		2	2
			日本外交史	2	2		2
			西洋女性史	2		2	2
			国際関係史	2		2	2
			西洋の人権の歴史	2	2		1
			西洋の裁判の歴史	2		2	1
			法思想史	2		2	2
			西洋政治思想史	2	2		2
地理学 (地誌を含む。)	1	自然地理学	②	(2)	(2)	1~2	
		人文地理学	②	(2)	(2)	1~3	
		地誌学	②		2	1	
「法律学、政治学」	1	法学概論	②	2		1	
		政治と政策	2	2		1	
		世界の政治と社会	2		2	1	
		憲法Ⅱ(統治機構)	2	2		2	
		行政法総論	2	2		2	
		行政法各論	2		2	2	
		国際社会と法	2		2	1	

教育職員免許法施行規則に定める科目 および単位数		左記科目に対する本大学での科目等					
科目	各科目に含めることが 必要な事項	最低修得 単位数	授業科目	単位数	週時間数		履修 年次
					前期	後期	
教科に関する専門的事項	「法律学、政治学」	1	国際法の基礎理論	2	2		2
			刑法総論	2	2		2
			刑事訴訟法	2	2		3
			民法総則	2		2	1
			物権法	2	2		2
			民事訴訟法	2	2		3
			国際私法総論	2	2		3
			国際私法各論	2		2	3
			商法総論	2	2		2
			会社法	2		2	2
			有価証券法	2		2	2
			国際取引法	2	2		3
			独占禁止法	2		2	3
			社会保障法	2		2	3
			政治学概論	2		2	1
			公共政策の基礎	2	2		2
			行政学	2		2	2
			国際関係論	2	2		2
			地方自治論	2		2	3
			日本政治論	2	2		1
近代日本政治史	2		2	1			
グローバル社会論	2	2		3			
「社会学、経済学」	1	社会学Ⅰ	②	2		1	
		社会学Ⅱ	②		2	1	
		経済学入門	②	2		1～3	
		教養経済学	②		2	1	
「哲学、倫理学、宗教学」	1	哲学Ⅰ	②	2		1～2	
		哲学Ⅱ	②		2	1～2	
		法哲学総論	2	2		3	
		法哲学各論	2		2	3	

教育職員免許法施行規則に定める科目 および単位数		左記科目に対する本大学での科目等					
科目	各科目に含めることが 必要な事項	最低修得 単位数	授業科目	単位数	週時間数		履修 年次
					前期	後期	
各教科の指導法(情報機器及び 教材の活用を含む。)		8	社会科教育法Ⅰ(地歴分野)	②	2		3
			社会科教育法Ⅱ(地歴分野)	②		2	3
			社会科教育法Ⅲ(公民分野)	②	2		3
			社会科教育法Ⅳ(公民分野)	②		2	3
合計		28		30以上			

注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目

2 単位数を□で囲んだ授業科目は選択必修科目

3 週時間数を()で囲んだ授業科目は、前期または後期のいずれかで開講する。

4 「社会学Ⅰ、Ⅱ」または「経済学入門」と「教養経済学」のいずれか4単位を修得すること。

5 「日本史学」、「ヨーロッパ史学」、「東南アジア史学」、「グローバル社会と日本」、「中国史学」は、外国語学部開設科目。これらの科目については、1年間に履修申請できる単位数に含めない。

6 教科及び教科の指導法に関する科目において、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に充当する。

ロ 公民

教育職員免許法施行規則に定める科目 および単位数		左記科目に対する本大学での科目等					
科目	各科目に含めることが 必要な事項	最低修得 単位数	授業科目	単位数	週時間数		履修 年次
					前期	後期	
教科に関する専門的 事項	「法律学(国際法を含む)、政治学(国際政治を含む。)」	1	法学概論	②	2		1
			政治と政策	2	2		1
			世界の政治と社会	2		2	1
			憲法Ⅱ(統治機構)	2	2		2
			行政法総論	2	2		2
			行政法各論	2		2	2
			国際社会と法	②		2	1
			国際法の基礎理論	②	2		2
			刑法総論	2	2		2
			刑事訴訟法	2	2		3
			民法総則	2		2	1
			物権法	2	2		2
			民事訴訟法	2	2		3
			国際私法総論	2	2		3
			国際私法各論	2		2	3
			商法総論	2	2		2
			会社法	2		2	2
			有価証券法	2		2	2
			国際取引法	2	2		3
			独占禁止法	2		2	3
			社会保障法	2		2	3
			政治学概論	2		2	1
			公共政策の基礎	2	2		2
			行政学	2		2	2
			国際関係論	2	2		2
			地方自治論	2		2	3
			日本政治論	2	2		1
			近代日本政治史	2		2	1
グローバル社会論	2	2		3			

教育職員免許法施行規則に定める科目 および単位数			左記科目に対する本大学での科目等				
科目	各科目に含めることが 必要な事項	最低修得 単位数	授業科目	単位数	週時間数		履修 年次
					前期	後期	
教科に関する専門的 事項	「社会学・経済学(国際 政治を含む。)」	1	社会学Ⅰ	㊦	2		1
			社会学Ⅱ	㊦		2	1
			経済学入門	㊦	2		1～3
			教養経済学	㊦		2	1
	「哲学、倫理学、宗教 学、心理学」	1	哲学Ⅰ	㊦	2		1～2
			哲学Ⅱ	㊦		2	1～2
			心理学Ⅰ	㊦	2		1
			心理学Ⅱ	㊦		2	1
			法哲学総論	2	2		3
			法哲学各論	2		2	3
	各教科の指導法(情報機器及び 教材の活用を含む。)	4	社会科教育法Ⅲ(公民分野)	㊦	2		3
			社会科教育法Ⅳ(公民分野)	㊦		2	3
合計		24		34以上			

注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目

2 単位数を□で囲んだ授業科目は選択必修科目

3 「社会学Ⅰ、Ⅱ」または「経済学入門」と「教養経済学」のいずれか4単位を修得すること。

4 「哲学Ⅰ、Ⅱ」または「心理学Ⅰ、Ⅱ」のいずれか4単位を修得すること。

5 教科及び教科の指導法に関する科目において、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に充当する。

2 教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目および教育実践に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数		左記科目に対する本大学での科目等								
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数		授業科目	単位数		週時間数		履修年次	
		中学	高校		中学	高校	前期	後期		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	10	教育原理	②	②	(2)	(2)	2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）			教師論	②	②	2		1	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）			教育経営論	②	②	(2)	(2)	3	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			教育社会学	②	②	(2)	(2)	3	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			教育心理学	②	②	(2)	(2)	1	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）			特別支援教育論	②	②	(2)	(2)	3	
				教育課程論	②	②	(2)	(2)	2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	8	道徳教育論	②		(2)	(2)	3	
	総合的な学習の時間の指導法			特別活動・総合的な学習の時間の理論と指導法	②	②	(2)	(2)	1	
	特別活動の指導法			教育方法論	②	②	(2)	(2)	2	
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）			生徒指導論(進路指導を含む)	②	②	(2)	(2)	2	
	生徒指導の理論及び方法			教育相談(カウンセリングの基礎を含む)	②	②	(2)	(2)	3	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法			生徒指導論(進路指導を含む)【再掲】						
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法									
教育実践に関する科目	教育実習	5	3	教育実習Ⅰ	①	①	(2)	(2)	3	
				教育実習Ⅱ	2	②	—	—	4	
				教育実習Ⅲ	④	④	—	—	4	
	学校体験活動	該当科目なし								
教職実践演習	2	2	教職実践演習(中・高)	②	②		2	4		
合計		27	23		29以上	25以上				

注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、単位数を□で囲んだ授業科目は選択必修科目、その他は選択科

目。

- 2 週時間数を()で囲んだ授業科目は、前期または後期のいずれかで開講する。
- 3 「教育社会学」、「教育経営論」のうちいずれか1科目を修得すること。
- 4 「教育実習Ⅰ」は、学内における指導とする。
- 5 「教育実習Ⅱ」は、2週間以上の学外実習および学内における事前事後指導含む。
- 6 「教育実習Ⅲ」は、3週間以上の学外実習および学内における事前事後指導含む。
- 7 中学校教諭一種免許状取得には「教育実習Ⅱ」、「教育実習Ⅲ」から4単位以上、高等学校教諭一種免許状取得には2単位以上修得すること。
- 8 教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目および教育実践に関する科目において、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に充当する。

3 大学が独自に設定する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数			左記科目に対する本大学での科目等					
科目区分	最低修得単位数		授業科目	単位数		週時間数		履修年次
	中学	高校		中学	高校	前期	後期	
大学が独自に設定する科目	4	12	地域連携教育活動Ⅰ	2	2	(2)	(2)	2
			地域連携教育活動Ⅱ	2	2	(2)	(2)	2
			道徳教育論		2	(2)	(2)	3
			「教科及び教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」および「教育実践に関する科目」において、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した単位数を充当する。					
合計	4	12		4以上	12以上			

注1 「道徳教育論」は、高等学校教諭一種免許状取得にあたっては、大学が独自に設定する科目の修得単位数に充当することができるが、中学校教諭一種免許状取得にあたっては、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目の修得単位数とするため、大学が独自に設定する科目の修得単位数に充当することはできない。

- 2 「地域連携教育活動Ⅰ」および「地域連携教育活動Ⅱ」は選択科目とする。
- 3 「道徳教育論」は、高等学校教諭一種免許状取得にあたっては選択科目とする。

4 その他教育職員免許法施行規則で定める科目

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数			左記科目に対する本大学での科目等					
科 目	最低修得単位数		授 業 科 目	単 位 数		週 時 間 数		履修年次
	中学	高校		中学	高校	前期	後期	
日本国憲法	2	2	憲法 I (基本的人権)	②		2		1
体育	2	2	スポーツ科学実習 I a	①		2		1
			スポーツ科学実習 I b	①			2	
外国語コミュニケーション	2	2	英会話 I	①		2		2
			英会話 II	①			2	
情報機器の操作	2	2	情報リテラシー I	①		(2)	(2)	1
			情報リテラシー II	①			2	1

注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目

2 週時間数を()で囲んだ授業科目は、前期または後期のいずれかで開講する。

教育職員免許状取得のために必要な科目

1 教科及び教科の指導法に関する科目

(1) 社会

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数			左記科目に対する本大学での科目等				
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低単位数	授業科目	単位数	週時間数		履修年次
					前期	後期	
教科に関する専門的事項	日本史・外国史	1	日本経済史	2	2		1
			世界経済史	2	2		2
			日本産業史	2		2	3
			日本の歴史	②	2		1
			世界の歴史	②		2	1
	地理学 (地誌を含む。)	1	地誌学	②		2	1
			自然地理学	②	(2)	(2)	1~2
			人文地理学	②	(2)	(2)	1~3
			経済地理	2		2	1
	「法律学、政治学」	1	国際社会と法	2		2	1
			国際法の基礎理論	2	2		2
			民法	2		2	2
			商法	2	2		2
			会社法	2		2	2
			行政法	2	2		3
			労働法	2		2	3
			法学入門	②	2		1~3
			日本の政治	②	(2)	(2)	2~3
			世界の政治	②	(2)	(2)	2
	「社会学、経済学」	1	国際経済学入門	2		2	1
			ミクロ経済学 I	②	2		2
			マクロ経済学 I	②	2		2
			社会経済学 I	2	2		2
			社会経済学 II	2		2	2
			日本経済論	2		2	1
			公共経済学	2		2	3

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数			左記科目に対する本大学での科目等				
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数	週時間数		履修年次
					前期	後期	
教科に関する専門的事項	「社会学、経済学」	1	労働経済学	2	2		2
			関西経済論	2		2	2
			観光経済論	2	2		2
			社会学	2	2		1
	「哲学、倫理学、宗教学」	1	哲学Ⅰ	②	2		1～2
			哲学Ⅱ	②		2	1～2
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	8	社会科教育法Ⅰ(地歴分野)	②	2		3	
		社会科教育法Ⅱ(地歴分野)	②		2	3	
		社会科教育法Ⅲ(公民分野)	②	2		3	
		社会科教育法Ⅳ(公民分野)	②		2	3	
合計		28		32以上			

注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目

2 週時間数を()で囲んだ授業科目は、前期または後期のいずれかで開講する。

3 教科及び教科の指導法に関する科目において、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に充当する。

(2) 公民

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数			左記科目に対する本大学での科目等					
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低単位数	授業科目	単位数	週時間数		履修年次	
					前期	後期		
教科に関する専門的事項	「法律学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」	1	国際社会と法	②		2	1	
			国際法の基礎理論	②	2		2	
			民法	2		2	2	
			商法	2	2		2	
			会社法	2		2	2	
			行政法	2	2		3	
			労働法	2		2	3	
			法学入門	②	2		1~3	
			日本の政治	②	(2)	(2)	2~3	
			世界の政治	②	(2)	(2)	2	
	「社会学、経済学(国際経済を含む。)」	1	国際経済学入門	2		2	1	
			ミクロ経済学Ⅰ	②	2		2	
			マクロ経済学Ⅰ	②	2		2	
			社会経済学Ⅰ	②	2		2	
			社会経済学Ⅱ	2		2	2	
			日本経済論	2		2	1	
			公共経済学	2		2	3	
			労働経済学	2	2		2	
			関西経済論	2		2	2	
			観光経済論	2	2		2	
			社会学	2	2		1	
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	1	哲学Ⅰ	☑	2		1~2	
			哲学Ⅱ	☑		2	1~2	
			心理学Ⅰ	☑	2		1	
			心理学Ⅱ	☑		2	1	
	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	4	社会科教育法Ⅲ(公民分野)	②	2		3	
			社会科教育法Ⅳ(公民分野)	②		2	3	
	合計		24		34以上			

注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目

2 週時間数を()で囲んだ授業科目は、前期または後期のいずれかで開講する。

- 3 「哲学Ⅰ、Ⅱ」または「心理学Ⅰ、Ⅱ」のいずれか4単位を修得すること。
- 4 教科及び教科の指導法に関する科目において、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に充当する。

2 教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目および教育実践に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数		左記科目に対する本大学での科目等								
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数		授業科目	単位数		週時間数		履修年次	
		中学	高校		中学	高校	前期	後期		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	10	教育原理	②	②	(2)	(2)	2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）			②	②	2		1		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）			②	②	(2)	(2)	3		
	教育社会学			②	②	(2)	(2)	3		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			②	②	(2)	(2)	1		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			②	②	(2)	(2)	3		
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）			②	②	(2)	(2)	2		
道徳、総合的な学習の時間等の指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	8	道徳教育論	②		(2)	(2)	3	
	総合的な学習の時間の指導法			②	②	(2)	(2)	1		
	特別活動の指導法									
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）			②	②	(2)	(2)	2		
	生徒指導の理論及び方法			②	②	(2)	(2)	2		
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法			②	②	(2)	(2)	3		
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			生徒指導論(進路指導を含む)【再掲】						
教育実践に関する科目	教育実習	5	3	教育実習Ⅰ	①	①	(2)	(2)	3	
				教育実習Ⅱ	2	②	—	—	4	
				教育実習Ⅲ	④	④	—	—	4	
	学校体験活動			該当科目なし						
	教職実践演習			2	2	教職実践演習(中・高)	②	②		2
合計		27	23		29 以上	25 以上				

- 注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目、その他は選択科目。
- 2 週時間数を()で囲んだ授業科目は、前期または後期のいずれかで開講する。
- 3 「教育社会学」、「教育経営論」のうちいずれか1科目を修得すること。
- 4 「教育実習Ⅰ」は、学内における指導とする。
- 5 「教育実習Ⅱ」は、2週間以上の学外実習および学内における事前事後指導含む。
- 6 「教育実習Ⅲ」は、3週間以上の学外実習および学内における事前事後指導含む。
- 7 中学校教諭一種免許状取得には「教育実習Ⅱ」、「教育実習Ⅲ」から4単位数以上、高等学校教諭一種免許状取得には2単位数以上修得すること。
- 8 教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目および教育実践に関する科目において、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に充当する。

3 大学が独自に設定する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数			左記科目に対する本大学での科目等					
科目区分	最低修得単位数		授業科目	単位数		週時間数		履修年次
	中学	高校		中学	高校	前期	後期	
大学が独自に設定する科目	4	12	地域連携教育活動Ⅰ	2	2	(2)	(2)	2
			地域連携教育活動Ⅱ	2	2	(2)	(2)	2
			道徳教育論		2	(2)	(2)	3
			「教科及び教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」および「教育実践に関する科目」において、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した単位数を充当する。					
合計	4	12		4以上	12以上			

- 注1 「道徳教育論」は、高等学校教諭一種免許状取得にあたっては、大学が独自に設定する科目の修得単位数に充当することができるが、中学校教諭一種免許状取得にあたっては、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目の修得単位数とするため、大学が独自に設定する科目の修得単位数に充当することはできない。
- 2 「地域連携教育活動Ⅰ」および「地域連携教育活動Ⅱ」は選択科目とする。
- 3 「道徳教育論」は、高等学校教諭一種免許状取得にあたっては選択科目とする。

4 その他教育職員免許法施行規則で定める科目

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数			左記科目に対する本大学での科目等					
科目	単位数		授業科目	単位数		週時間数		履修年次
	中学	高校		中学	高校	前期	後期	
日本国憲法	2	2	日本国憲法	②			2	1～3
体育	2	2	スポーツ科学実習Ⅰ	①		2		1
			スポーツ科学実習Ⅱ	①			2	1
外国語コミュニケーション	2	2	英語基礎会話Ⅰ	①		2		1
			英語基礎会話Ⅱ	①			2	1
情報機器の操作	2	2	情報リテラシーⅠ	①		(2)	(2)	1
			情報リテラシーⅡ	①			2	1

注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目

2 週時間数を()で囲んだ授業科目は、前期または後期のいずれかで開講する。

教育職員免許状取得のために必要な科目

1 教科及び教科の指導法に関する科目

(1) 理科

(イ) 農業生産学科

教育職員免許法施行規則に定める科目 および単位数				左記科目に対する本大学での科目等						
科目	各科目に含める ことが必要な事 項	最低修得 単位数		授業科目	単位数		週時間数		履修 年次	
		中学	高校		中学	高校	前期	後期		
教科に 関する 専門的 事項	物理学	1	1	物理学	②			2	1	
	化学	1	1	化学	②		2		1	
				化学演習	1		2		1	
	生物学	1	1	生物学	②			2	1	
				生物学演習	1			2	1	
				生物統計学	2		2		2	
				植物病理学	2		2		2	
				応用昆虫学	2		2		2	
				昆虫生理生態学	2				2	2
				多様性生物学	2		2		2	3
				土壌微生物学	2		2		2	3
				分子から見た植物の働き	2		2		2	3
				ゲノムと生命	2		2		2	3
				生物の多様性と進化	2		2		2	3
				動物とくらし	2				2	3
	微生物とくらし	2				2	3			
	海洋生物とくらし	2		2		2	4			
	地学	1	1	土壌学	2		2		2	
				地学	②		2		3	
	物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)	1	1	物理学実験	②			4	3	
化学実験 (コンピュータ活用を含む。)	1	1	化学実験	②		4		1		
生物学実験 (コンピュータ活用を含む。)	1	1	生物学実験	②			4	1		
地学実験 (コンピュータ活用を含む。)	1	1	地学実験	②		2		3		
各教科の指導法（情報 機器及び教材の活用を 含む。）	8	4	理科教育法Ⅰ	②	②		2	2		
			理科教育法Ⅱ	②	②	2		3		
			理科教育法Ⅲ	②	2		2	3		
			理科教育法Ⅳ	②	2		2	3		
合計	28	24		30以上	34以上					

注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、その他は選択科目とする。

2 教科及び教科の指導法に関する科目において、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に充当する。

(ロ) 応用生物科学科

教育職員免許法施行規則に定める科目 および単位数				左記科目に対する本大学での科目等						
科目	各科目に含める ことが必要な事 項	最低修得 単位数		授業科目	単位数		週時間数		履修 年次	
		中学	高校		中学	高校	前期	後期		
教科に 関する 専門的 事項	物理学	1	1	物理学	②			2	1	
	化学	1	1	化学	②		2		1	
				化学演習	1		2		1	
				生化学	2			2	1	
	生物学	1	1	生物学	②			2	1	
				生物学演習	1			2	1	
	生物学	1	1	生物統計学	2		2		2	
				生物系統学	2			2	1	
				ゲノム分子生物学	2		2		2	
				植物遺伝子工学	2		2		2	
				細胞生物学	2			2	2	
				応用微生物学	2		2	2		2
				生態学	2		2	2		2
				共生ウイルス学	2				2	2
				産業動物学	2		2	2		2
	動物機能科学	2				2	2			
	海洋動物学	2		2	2		2			
	地学	1	1	地学	②		2		3	
	物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)	1	1	物理学実験	②			4	3	
	化学実験 (コンピュータ活用を含む。)	1	1	化学実験	②		4		1	
生物学実験 (コンピュータ活用を含む。)	1	1	生物学実験	②			4	1		
地学実験 (コンピュータ活用を含む。)	1	1	地学実験	②		2		3		
各教科の指導法（情報 機器及び教材の活用を 含む。）	8	4	理科教育法Ⅰ	②	②		2	2		
			理科教育法Ⅱ	②	②	2		3		
			理科教育法Ⅲ	②	2		2	3		
			理科教育法Ⅳ	②	2		2	3		
合計	28	24		30以上	34以上					

注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、その他は選択科目とする。

2 教科及び教科の指導法に関する科目において、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に充当する。

(2) 農業
(イ) 農業生産学科

教育職員免許法施行規則に定める科目 および単位数			左記科目に対する本大学での科目等				
科目	各科目に含めるこ とが必要な事項	最低修得 単位数	授業科目	単位数	週時間数		履修 年次
					前期	後期	
教科に 関する 専門的 事項	農業の関係科目	1	植物遺伝学	2		2	1
			作物機能形態学	2		2	1
			植物生理学	2		2	1
			植物育種学	2	2		2
			作物学	②	2		2
			野菜花卉園芸学	②	2		2
			植物育種方法論	2		2	2
			資源作物学	2		2	2
			果樹園芸学	2		2	2
			耕地生態学	2	2		3
			施設園芸学	2	2		3
			植物感染機構学	2		2	2
			植物無機栄養学	2		2	2
			植物病害管理学	2		2	3
			害虫防除論	2		2	3
			雑草管理学	2		2	3
			農場実習	1		2	2
			農業生産学実習Ⅰ	②	6		2
			農業生産学実習Ⅱ	②		6	2
			農学概論	②	2		1
			食と農の倫理を学ぶ	2	2		3
			食と農の経済を学ぶ	2	2		3
			食と農の共生を考える	2		2	3
	フードシステムを学ぶ	2		2	3		
	農業の多様性を学ぶ	2		2	3		
	食と農の歴史を学ぶ	2	2		4		
	職業指導	1	職業指導Ⅰ	②	2		3
職業指導Ⅱ			②		2	3	
各教科の指導法（情報機 器及び教材の活用を含 む。）	4	農業科教育法Ⅰ	②	2		3	
		農業科教育法Ⅱ	②		2	3	
合計		24		34以上			

注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、その他は選択科目とする。

2 農業の関係科目において、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に充当する。

2 栄養に係る教育に関する科目

(1) 栄養教諭

(イ) 食品栄養学科

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数			左記科目に対する本大学での科目等				
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授業科目	単位数	週時間数		履修年次
					前期	後期	
栄養に係る教育に関する科目	・栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項	4	学校栄養指導論Ⅰ	②	2		3
	・幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項		学校栄養指導論Ⅱ	②		2	3
合計		4		4			

注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目とする。

3 教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目および教育実践に関する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数				左記科目に対する本大学での科目等							
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数			授業科目	単位数			週時間数		履修年次
		中学	高校	栄養教諭		中学	高校	栄養教諭	前期	後期	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	10	8	教育原理	②	②	②	(2)	(2)	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）				教師論	②	②	②	2		1
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）				教育経営論	②	②	②	(2)	(2)	3
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程				教育社会学	②	②	②	(2)	(2)	3
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解				教育心理学	②	②	②	(2)	(2)	1
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）				特別支援教育論	②	②	②	(2)	(2)	3
	教育課程論	②	②	②	(2)	(2)	2				

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数				左記科目に対する本大学での科目等							
科目	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数			授業科目	単位数			週時間数		履修年次
		中学	高校	栄養教諭		中学	高校	栄養教諭	前期	後期	
導、道徳、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	8	6	道徳教育論	②		②	(2)	(2)	3
	総合的な学習の時間の指導法				特別活動・総合的な学習の時間の理論と指導法	②	②	②	(2)	(2)	1
	特別活動の指導法				教育方法論	②	②	②	(2)	(2)	2
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）				生徒指導論（進路指導を含む）	②	②	②	(2)	(2)	2
	生徒指導の理論及び方法				教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	②	②	②	(2)	(2)	3
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法				進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒指導論（進路指導を含む）【再掲】					
教育実践に関する科目	教育実習	5	3	-	教育実習Ⅰ	①	①		(2)	(2)	3
					教育実習Ⅱ	2	2		-	-	4
					教育実習Ⅲ	④	④		-	-	4
	学校体験活動	-									
	栄養教育実習	-	-	2	栄養教育実習Ⅰ			①		2	3
					栄養教育実習Ⅱ			①	-	-	4
教職実践演習	2	2	2	教職実践演習（中・高）	②	②			2	4	
				教職実践演習（栄養教諭）			②		2	4	
合計		27	23	18		29以上	25以上	26以上			

注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、□で囲んだ授業科目は選択必修科目、その他は選択科目とする。

- 2 週時間数を()で囲んだ授業科目は、前期または後期のいずれかで開講する。
- 3 「教育社会学」、「教育経営論」のうちいずれか1科目を修得すること。
- 4 「教育実習Ⅰ」「栄養教育実習Ⅰ」は、学内における指導とする。
- 5 「教育実習Ⅱ」は、2週間以上の学外実習および学内における事前事後指導含む。
- 6 「教育実習Ⅲ」は、3週間以上の学外実習および学内における事前事後指導含む。
- 7 「栄養教育実習Ⅱ」は、1週間以上の学外実習および学内における事前事後指導含む。
- 8 中学校教諭一種免許状取得には「教育実習Ⅱ」、「教育実習Ⅲ」から4単位以上、高等学校教諭一種免許状取得には2単位以上修得すること。
- 9 教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目および教育実践に関する科目において、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した単位数は、「大学が独自に設定する科目」の単位数に充当する。

4 大学が独自に設定する科目

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数			左記科目に対する本大学での科目等					
科目	最低修得単位数		授業科目	単位数		週時間数		履修年次
	中学	高校		中学	高校	前期	後期	
大学が独自に設定する科目	4	12	地域連携教育活動Ⅰ	2	2	(2)	(2)	2
			地域連携教育活動Ⅱ	2	2	(2)	(2)	2
			道徳教育論		2	(2)	(2)	3
			「教科及び教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」および「教育実践に関する科目」において、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した単位数を充当する。					
合計	4	12		4 以上	12 以上			

- 注1 「道徳教育論」は、高等学校教諭一種免許状取得にあたっては、大学が独自に設定する科目の修得単位数に充当することができるが、中学校教諭一種免許状取得にあたっては、道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目の修得単位数とするため、大学が独自に設定する科目の修得単位数に充当することはできない。
- 2 「地域連携教育活動Ⅰ」および「地域連携教育活動Ⅱ」は選択科目とする。
- 3 「道徳教育論」は、高等学校教諭一種免許状取得にあたっては、選択科目とする。

5 その他教育職員免許法施行規則で定める科目

教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数				左記科目に対する本大学での科目等							
科目	単位数			学科	授業科目	単位数			週時間数		履修年次
	中学	高校	栄養教諭			中学	高校	栄養教諭	前期	後期	
日本国憲法	2	2	2	全学科共通	日本国憲法		2			2	
体育	2	2	2		スポーツ科学Ⅰ		1			2	
					スポーツ科学Ⅱ		1		2		
外国語コミュニケーション	2	2	2		英語基礎会話a		1			2	3
					英語基礎会話b		1		2	3	
情報機器の操作	2	2	2		情報リテラシーⅠ		1			2	1
					情報リテラシーⅡ		1		2	1	

- 注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目、その他は選択科目とする。